

きここち。

Yamane_mokuzai quarterly magazine 'Kicocochi' 2019 / Spring

特集

自転車のある暮らし



家は、風土。
「木と暮らす。」 実例 ⑨

特集
自転車の
ある暮らし

南東に延びる高台の家。
緑と光に包まれた
伸びやかな暮らしだ。
広い土間には薪ストーブと
大好きな自転車。
そして無垢の木に包まれた居住空間。
夫婦の夢のかけらを積み上げて
完成した理想の暮らしがここにある。

Feature!
Small hill
of
house
kicocochi.

土間から見たLDK。日常の暮らしは1階で済ませる平屋のような感覚の家。床材はオークアンティーク



「自転車は生活の一部。
自分の自信であり、軸なんです」

bicycle

玄関を兼ねた広い土間には自慢の薪ストーブと愛車が。「自転車は僕のライフワーク」とご主人



光、風、緑、土。
そして子どもたちの
笑い声が
家族を包み込む

Living room



理想の家のイメージを書き留めた手づくりノート。
家づくりはここから始まった

家を持つたやってみたくことが3つあった。1つは家庭菜園、2つ目は薪ストーブを置くこと、もう1つは大好きな自転車を、時間をかけて手を加えることだった。A様の手元に残るのは、その夢を事細かに記した手書きのノート。広島市東区の坂の上に建てた家は、2冊のノートに書き留めた夢を実現できた。広い土間と遮るもののない景色、たっぷりの陽光と緑がA様の家を温かく包み込む。

オンタイムを

忘れさせてくれる

心地良さとやすらぎ

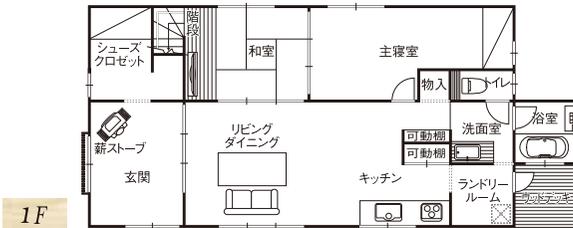
ご主人は毎朝5時に起床し、10km先の勤務地まで自転車通勤をしている。休日でも5時に起きて風の匂い、季節の光、上り坂、下り坂と五感を豊かに弾ませながら、自転車を走らせるのが

楽しいのだという。一方、奥様はインテリアや料理が好きなインドア派。ご主人の夢の1つである薪ストーブで暖まった部屋で、子どもたちと過ごすことに喜びを感じている。食べる、くつろぐ、寝る、遊ぶ。この家にはそれをするための場所を決めていない。家族のそれぞれが、そのときの気分で自由に過ごしていきたいのだという。そうすることによって、家族みんなの感性が磨かれるのだ。

Japanese-style room



「リビングにテレビを置きたくなくて」と和室に置いた。インテリアの趣味は夫婦で似ているそう



Building exterior



外壁は焼杉。山の斜面に建つため薪ストーブの煙も気にならない

